

男女共同参画推進・若手研究者育成委員会企画ランチオンワークショップ

「あるがままで道を拓こう」

日時：6月26日（水） 大会3日目 12時55分～13時45分

会場：B会場（3F 国際会議室）

演者：白壁 恭子（立命館大学）

南後 恵理子（理化学研究所）

司会：茶谷 絵理（神戸大学）、末次 志郎（奈良先端科学技術大学院大学）

〈企画意図〉

今から20年ほど前、博士課程の学生はほとんど男性でした。今では女性がほとんどという研究室もあると聞きます。それでは「女性研究者」のあり方は20年間でどう変わったのでしょうか。人の数だけ人生があるように研究者としてのキャリアパスも人それぞれです。キラ星のような研究者と自分を比べて落ち込むなんてナンセンス。自分にしか歩めない道を、あきらめず・くさらず・したたかに切り拓いていくにはどうしたら良いか、一緒に考えてみませんか？

本ワークショップでは、細胞生物学会から白壁恭子先生、蛋白質科学会から南後恵理子先生をお招きし、それぞれのキャリアパスを紹介いただきながら「回り道を楽しみ多様性を受け入れる」をテーマに、女性研究者も男性研究者も能力を發揮できる社会の実現を模索したいと思います。

なお、本ワークショップではお弁当を用意しておりますのでランチオンチケットは必要ありません。ただし、数量に限りがございます。また、お子様連れも歓迎いたします。（お子様用のお弁当は各自ご用意ください）。

日本蛋白質科学会

男女共同参画担当役員：茶谷絵理（神戸大学）、栗栖源嗣（大阪大学）

若手育成担当役員：稲葉謙次（東北大学）、田中良和（東北大学）

日本細胞生物学会

男女共同参画・若手研究者育成委員会

末次志郎（委員長、奈良先端科学技術大学院大学）、藤ノ木政勝（獨協医科大学）、

亀高諭（名古屋大学）、中村暢宏（京都産業大学）、津久井久美子（国立感染症研究所）、

大澤志津江（京都大学）、佐藤あやの（岡山大学）